

りゅうがく館だより

令和3年8月号



夏真っ盛り！りゅうがく館図書室では自由研究特集をしています。夏休みの宿題に役立つような理科の本や、作文の書き方などがたくさん。困ったときはりゅうがく館に寄ってみてください。

図書室の本を検索できます！

りゅうがく館の図書室の蔵書をインターネットからいつでも・どこでも探せるようになりました。



使い方

- ① 「龍郷町ホームページ」の「町の施設」→「りゅうがく館図書室蔵書検索」または、右上のQRコードを読み込む。[\(https://ryugakukanopac.sakura.ne.jp/\)](https://ryugakukanopac.sakura.ne.jp/)

- ① キーワードに調べたい本のタイトルや著者名、調べたい言葉をいれる。
- ② 検索ボタンを押すと一覧がでます。

- ・検索一覧から本を選べると、貸し出し状況や出版年など、詳しい情報がわかります。
- ・予約したい場合は、電話かりゅうがく館受付にてお申込みください。

本が見つからないとき
タイトルや著者の漢字・ひらがな・カタカナはありますか？キーワードは短いほうが探しやすいです。

おしらせ

ご自宅に返し忘れた本はございませんか？見つけたらいつでもお持ちください。お待ちしております！！



～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- ・『俳句用語辞典』(有馬 朗人/飯塚書店)
- ・『解き続けたくなる数学』(横山 明日希/日東書院本社)
- ・『今年こそ、梅しごと』(杵島 直美/河出書房新社)
- ・『なぜなに日本語』(関根 健一/三省堂)
- ・『なぞとき深海1万メートル』(蒲生 俊敬/講談社)
- ・『有機栽培のイネづくり』(小祝 政明/農山漁村文化協会)
- ・『はじめての果樹の育て方』(高橋 栄治/主婦の友社)
- ・『いちばんやさしいスマートフォン超入門』(原田 和也/SBクリエイティブ)
- ・『子どもと食べたいレンチン作りおき』(中村 美穂/世界文化ブックス) **他**

《児童書》

- ・『妖怪捕物帖 13』(大崎 梯造/岩崎書店)
- ・『あなふさぎのジグモンタ』(とみなが まい/ひさかたチャイルド)
- ・『わたしたちのカメムシずかん』(鈴木 海花/福音館書店)
- ・『カラスのいいぶん』(嶋田 泰子/童心社)
- ・『牧野富太郎 日本植物学の父』(清水 洋美/汐文社)
- ・『ほねほねザウルス 23』(カバヤ食品株式会社/岩崎書店)
- ・『10代の「めんどい」が楽になる本』(内田 和俊/KADOKAWA)
- ・『クイズでわかる！世界まるごと大百科』(ドーリング・キンダスリー社 編/世界文化社)
- ・『おいで、アラスカ！』(アンナ・ウォルツ/フレーベル館) **他**

今月のおすすめ本

《一般書》

『脱プラスチックへの挑戦』(堅達 京子/山と溪谷社)
2050年、海の中のプラスチックごみは魚の量を超える。「脱プラスチック」について、企業の動きから市民ができることまで分かりやすく解説します。

『イネの生理と栽培』(農山漁村文化協会 編・出版)
どうせイネをつくるなら、おいしいお米を収穫したい！植え方、施肥、水管理など一つ一つの意味とやり方を、名人たちの工夫と知恵も交えて丁寧に解説します。

《児童書》

『世界一トホホな算数事典』(細水 保宏/西東社)
ピザのLサイズ1枚よりMサイズ2枚のほうが小さい！？三角や四角はマンホールになれない！？知ったらちょっとびっくりしちゃうような面白い知識がいっぱいです。
『そのときがくるくる』(すず きみえ/文研出版)
だれにでも、きれいなものってあるよね。きみは どう？どうしても 食べられないもの。「いまはきれいでも、いつかきっと おいしく食べられるときがくるさ」って おじいちゃんは いうけど、ほんとかなあ。

